

週報

【2024/4 第3例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F 安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866 FAX:0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

第3175回例会

2024年4月26日(金) 12:30~13:30

司会者：岡田 健裕君・前沢 宏允君

ソング：「それでこそロータリー」

ニコボックス委員会：成瀬 清二君

雑誌委員会：服部 敦君 ロータリーの友発表

出席報告者：堀 真也君

全会員数 51名

現在出席義務者数 40名

本日の出席人数 38名

内出席免除者の出席人数

出席率 82.60%

2023-24年度：RIテーマ

「世界に希望を生み出そう」

安城ロータリークラブ会長方針：

「夢と誇りを持ち、
未来に向けて共に歩もう！」

■会長：戸谷 央

■幹事：大坪 久乃

■クラブ会報：野田敏男・寺部暁・市川護・前沢宏允



世界に希望を生み出そう

■ 会長挨拶

戸谷 央会長

北陸新幹線延線(金沢-敦賀)

3/16(日)金沢から敦賀で「北陸新幹線」から「しらさぎ」へ乗り換えを体験

※北陸新幹線から在来線特急へは標準的に8分で設定

初体験の8分乗り換えは大変でした。

⇒8分間常に動き続け、しらさぎへギリギリ乗車



<https://toyokeizai.net> (写真:久保田 敦)

<https://www.jreast.co.jp>



<https://www.jr-odekake.net>



第1回 ロータリー・フードフェスティバル(RFF)

イベント主旨

このイベントは、ロータリーチャリティイベントです。
収益金の一部をポリオ根絶支援のために使用します。

イベント内容

名古屋の中心でイベント、飲食、交流を楽しみましょう。歌や踊りなどイベントも盛り沢山!



次世代のためにより良い未来を目指してロータリーは奉仕します

主催 国際ロータリー第2760地区ロータリーフードフェスタ実行委員会

■ 幹事報告

大坪 久乃幹事

1. 本日例会終了後、クラブアッセンブリーを例会場(大会議室)にて行います。
2. 5/11(土)RFF移動例会当日の資料を参加者に配布いたします。10:45~の例会におくれないよう集合ください。チケットは当日配布します。
3. 6/14(金)最終理事委員長懇談会を18:30~初寿司にて行います。
4. 本年度事業報告発表を6/7.14に行っていただきます。報告書原稿の提出をお願い致します。

■ 本日の例会 地区研修協議会報告

発表者

第1分科会 成田孝則君

第5分科会 野田敏男君

第9分科会 杉山邦雄君

第2分科会 恒川憲一君

第6分科会 荻須 篤君

第3分科会 沓名一樹君

第7分科会 成瀬清二君

第4分科会 永井慎悟君

第8分科会 滝田有里さん

第4分科会

テーマ：成長するロータリー・奉仕の力

現状：2023-2024年度2760地区において国際奉仕を実施したクラブ

46クラブ（62%）

ロータリー財団の補助金を利用して国際奉仕を行ったクラブ

22クラブ（49%）

新たに計画している国際奉仕事業について

構想中のクラブ 13クラブ（29%）

海外に姉妹提携クラブがあるクラブ

51クラブ（台湾37% アメリカ17%）

地区補助金利用実績のあるクラブ

86クラブ中66クラブ

傾向：活動内容の傾向として 教育(22%)環境(19%)水の衛生(14%)への傾注が強い傾向
グローバル補助金の基準と審査は厳しくなっている

寄付、寄贈行為のみでなく、事業活動及び交流の重要性が増している

方針：地区全体での国際奉仕より各クラブが個々で国際奉仕活動を実施する方向

海外での活動に特化するだけでなく、国内での国際奉仕活動を支援する方向

国内での国際奉仕活動は低予算でも実施が可能(クラブ予算のみ)

単年での活動で終了ではなく2~3年単位での継続性を持った活動も推進

ローターアクトへの支援の強化

地区からの支援の後押しを気楽に相談してほしい。バックアップもする

地区補助金のルールが変更。クラブ資金の持出が無くてもクラブ年次基金寄付額の25%が申請すれば補助金の利用が出来るようになる

他クラブの活動紹介:名古屋千種RC トイレ(井戸)建設 カンボジア

豊橋RC 山岳民族定住化支援(ミシン提供、技術指導)ブータン

三州RC 日本語教育支援

岡崎城南RC 市内在住の外国人とお祭り交流(市とタイアップ)

第8分科会(米山記念奨学)

テーマ「未来に向かって、世界平和の架け橋になろう」

* 寄付増進について

毎年の寄付で事業を運営 個人平均寄付額16,960円

(愛知県 平均35,708円)

* 奨学生選考について

2024年度 100名以上の面接より51名を選考

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。

これはロータリーの目指す 平和と国際理解の推進 そのものです。

* 世話クラブの役割について

①例会への招待と奨学金の支給

②奨学生レポート・カウンセラー所見の提出

③卓話と近隣クラブへの紹介

④カウンセラーはクラブと奨学生をつなぐパイプ役

⑤ロータリーの精神を伝え、奨学生の責任と義務を感じてもらう

⑥期間終了後も奨学生と連絡を取り合い交流の機会を作る

* 地区委員会の活動について

* 質疑応答

* グループ討議

* まとめ